



114
A 798
16

極秘

第一種

陸軍省
第一三

明治三十一年九月一日馬尼刺殺
陸軍砲兵大尉時澤右一第555報告

一此度革命黨ヨリ「ゲド」サンビローコヲ我國へ遣ハシ獨
立承認保護若クハ其他ノ援助ヲ乞フトナレリ
此「サンビローコ」ナル者ハ反徒中有數ノ切レ者ニシテ
外交ノ事ハ一切其擔任スル所ナリ武器其他
ノ購入杯ハ多ク此者ノ奔走スル所ニシテ此者ノ
為シタル事ハ着々實効ヲ奏ス目下一般ノ
人望頗ル高シ外交的手腕ハ先ヅ土人中第
一番ナルベシ去レ氏「ゴルテス」派ノ如ク軟派氏
見ヘズ曾テ歐カ初諸國ニ遊ビ畧ボ天下ノ大
勢ニ通ズ多智多策ノ者ナレ氏未ダ曾テ

265

5-17



小官ヲ欺カズ(今日迫ノ實驗ニ依レバ)人望ノ高
キハ若年ナルニモ係ハラズ今回大會議ノ議
長タリシヲ以テ知ルベシ初メアギナルド
用高ク後ケ及徒ガカウイテニ着セシ際ハ
アギナルドノ疑フ所トナリ米艦へ逃レタル
「アリアアギナルド」之ヲ外務大長ニ擬スレ
遂ニ受ケズ今尚ホ無職ナリ今回初メテ
推サレテ議長ト為レリアギナルドガ曾テ
米信セントセシラ極諫シ米ハ他日必ラス
革命年黨ノ障害タラント言ヒテ彼ヲ翻セ
シモ彼ナリ英佛獨西伊羅甸ノ諸語ヲ
解シ目下アギナルドノ信用厚シ熱心ナル
批政米主義ヲ抱キ一寸面白キ男ナリ

兎ニ角革命年黨ガ多事多端ノ今日此入用ナ
ル人物ヲ我カ國へ送りシハ彼等ガ如何ニ我カ國
ヲ重要視スル乎ヲ知ルニ足ル
比律賓人ノ我ガ國ヲ敬慕セル新ニ之ヲ言フ
須ヒズ而シテ此敬慕ニ反シ我ガ國態度ノ絨
黙ナリシ為メ一部先進輩ニ日本倚ル可ラズト
ノ失望的觀念ヲ生ゼシメ若シクハ日本ハ冷淡ナ
リトノ思想ヲ懷カシメタリ此思想此觀念若
シ一般愚直ナル士人ノ腦中ニ傳播セバ他日我
ガ南進ノ妨害タルヲ決シテソナナカラザルベシ

